



# **RCF** ファイルを使用して **Brocade FC** スイッチを設定します ONTAP MetroCluster

NetApp  
February 13, 2026

# 目次

RCF ファイルを使用して Brocade FC スイッチを設定します .....	1
Brocade FC スイッチを工場出荷時のデフォルトにリセット .....	1
Brocade FC スイッチの RCF ファイルのダウンロード .....	4
Brocade FC スイッチの RCF ファイルをインストールします .....	5

# RCF ファイルを使用して Brocade FC スイッチを設定します

## Brocade FC スイッチを工場出荷時のデフォルトにリセット

新しいソフトウェアバージョンと RCF ファイルをインストールする前に、現在のスイッチの設定を消去し、基本的な設定を完了する必要があります。

このタスクについて

この手順は、MetroCluster ファブリック構成内の各 FC スイッチで実行する必要があります。

手順

1. 管理者としてスイッチにログインします。
2. Brocade Virtual Fabric (VF) 機能を無効にします。

「fosconfig options」を参照してください

```
FC_switch_A_1:admin> fosconfig --disable vf
WARNING: This is a disruptive operation that requires a reboot to take
effect.
Would you like to continue [Y/N]: y
```

3. スイッチのポートから ISL ケーブルを外します。
4. スイッチを無効にします。

switchcfgpersistentdisable

```
FC_switch_A_1:admin> switchcfgpersistentdisable
```

5. 設定を無効にします。

「cfgDisable」

```
FC_switch_A_1:admin> cfgDisable
You are about to disable zoning configuration. This action will disable
any previous zoning configuration enabled.
Do you want to disable zoning configuration? (yes, y, no, n): [no] y
Updating flash ...
Effective configuration is empty. "No Access" default zone mode is ON.
```

6. 設定をクリアします。

## 「cfgClear」

```
FC_switch_A_1:admin> cfgClear
The Clear All action will clear all Aliases, Zones, FA Zones
and configurations in the Defined configuration.
Run cfgSave to commit the transaction or cfgTransAbort to
cancel the transaction.
Do you really want to clear all configurations? (yes, y, no, n): [no] y
```

## 7. 設定を保存します。

### cfgsave

```
FC_switch_A_1:admin> cfgSave
You are about to save the Defined zoning configuration. This
action will only save the changes on Defined configuration.
Do you want to save the Defined zoning configuration only? (yes, y, no,
n): [no] y
Updating flash ...
```

## 8. デフォルトの設定を行います。

### 「configDefault」

```
FC_switch_A_1:admin> configDefault
WARNING: This is a disruptive operation that requires a switch reboot.
Would you like to continue [Y/N]: y
Executing configdefault...Please wait
2020/10/05-08:04:08, [FCR-1069], 1016, FID 128, INFO, FC_switch_A_1, The
FC Routing service is enabled.
2020/10/05-08:04:08, [FCR-1068], 1017, FID 128, INFO, FC_switch_A_1, The
FC Routing service is disabled.
2020/10/05-08:04:08, [FCR-1070], 1018, FID 128, INFO, FC_switch_A_1, The
FC Routing configuration is set to default.
Committing configuration ... done.
2020/10/05-08:04:12, [MAPS-1113], 1019, FID 128, INFO, FC_switch_A_1,
Policy dflt_conservative_policy activated.
2020/10/05-08:04:12, [MAPS-1145], 1020, FID 128, INFO, FC_switch_A_1,
FPI Profile dflt_fpi_profile is activated for E-Ports.
2020/10/05-08:04:12, [MAPS-1144], 1021, FID 128, INFO, FC_switch_A_1,
FPI Profile dflt_fpi_profile is activated for F-Ports.
The switch has to be rebooted to allow the changes to take effect.
2020/10/05-08:04:12, [CONF-1031], 1022, FID 128, INFO, FC_switch_A_1,
configDefault completed successfully for switch.
```

9. すべてのポートについて、ポートの設定を default に設定します。

```
portcfgdefault_port-number_
```

```
FC_switch_A_1:admin> portcfgdefault <port number>
```

この手順はポートごとに実行する必要があります。

10. FOS 9.0 より前のバージョンを実行している場合は、スイッチが動的ポート オン デマンド (POD) 方式を使用していることを確認します。



Fabric OS 9.0以降では、ライセンス方式はデフォルトで動的です。静的ライセンス方式はサポートされていません。

バージョン 8.0 より前の Brocade Fabric OS では、次のコマンドを admin として実行し、バージョン 8.0 以降では root として実行します。

- a. ライセンスコマンドを実行します。

```
licenseport --show。
```

```
FC_switch_A_1:admin> license --show -port
24 ports are available in this switch
Full POD license is installed
Dynamic POD method is in use
```

- b. Brocade によって root ユーザが無効にされている場合は、有効にします。

```
FC_switch_A_1:admin> userconfig --change root -e yes
FC_switch_A_1:admin> rootaccess --set consoleonly
```

- c. ライセンスコマンドを実行します。

```
licenseport --show。
```

```
FC_switch_A_1:root> license --show -port
24 ports are available in this switch
Full POD license is installed
Dynamic POD method is in use
```

- d. Fabric OS 8.2.x以前を実行している場合は、ライセンス方式をdynamicに変更する必要があります。

licenseport — メソッドの動的

```
FC_switch_A_1:admin> licenseport --method dynamic
The POD method has been changed to dynamic.
Please reboot the switch now for this change to take effect
```

11. スイッチをリブートします。

「Fastboot」を参照してください

```
FC_switch_A_1:admin> fastboot
Warning: This command would cause the switch to reboot
and result in traffic disruption.
Are you sure you want to reboot the switch [y/n]?y
```

12. デフォルト設定が実装されたことを確認します。

'witchshow'

13. IP アドレスが正しく設定されていることを確認します。

ipAddrShow

必要に応じて、次のコマンドで IP アドレスを設定できます。

ipAddrSet

## Brocade FC スイッチの RCF ファイルのダウンロード

MetroCluster ファブリック構成内の各スイッチにリファレンス構成ファイル（RCF）をダウンロードする必要があります。

このタスクについて

これらの RCF ファイルを使用するには、システムで ONTAP 9.1 以降を実行している必要があり、ONTAP 9.1 以降のポートレイアウトを使用する必要があります。

FibreBridgeブリッジのFCポートの1つだけを使用する予定の場合は、セクションの指示に従ってバックエンドのファイバチャネルスイッチを手動で構成します。"[FCスイッチのポート割り当て](#)"。

手順

1. Brocade RCF ダウンロードページの RCF ファイルの表を参照し、構成内の各スイッチに対応する正しい RCF ファイルを特定します。

RCF ファイルを正しいスイッチに適用する必要があります。

2. スイッチ用の RCF ファイルをからダウンロードします "[MetroCluster の RCF ダウンロード](#)" ページ

ファイルは、スイッチに転送できる場所に配置する必要があります。2つのスイッチファブリックを構成する4つのスイッチのそれぞれに、個別のファイルがあります。

3. 構成内のスイッチごとに上記の手順を繰り返します。

## Brocade FC スイッチの RCF ファイルをインストールします

Brocade FC スイッチを設定する際には、特定の構成のスイッチ設定がすべて定義されたスイッチ構成ファイルをインストールできます。

このタスクについて

- この手順は、MetroClusterファブリック構成内の各Brocade FCスイッチで実行する必要があります。
- xWDM構成を使用する場合は、ISLの設定が必要になることがあります。詳細については、xWDMベンダーのドキュメントを参照してください。

手順

1. ダウンロードと設定のプロセスを開始します。

「 configDownload 」

次の例に示すようにプロンプトに応答します。

```
FC_switch_A_1:admin> configDownload
Protocol (scp, ftp, sftp, local) [ftp]:
Server Name or IP Address [host]: <user input>
User Name [user]:<user input>
Path/Filename [<home dir>/config.txt]:path to configuration file
Section (all|chassis|switch [all]): all
.
.
.
Do you want to continue [y/n]: y
Password: <user input>
```

パスワードを入力すると、スイッチはコンフィギュレーションファイルをダウンロードして実行します。

2. 構成ファイルでスイッチドメインが設定されていることを確認します。

'witchshow'

スイッチが使用する構成ファイルに応じて、各スイッチに異なるドメイン番号が割り当てられます。

```

FC_switch_A_1:admin> switchShow
switchName: FC_switch_A_1
switchType: 109.1
switchState: Online
switchMode: Native
switchRole: Subordinate
switchDomain: 5

```

3. 次の表に示すように、スイッチに正しいドメイン値が割り当てられていることを確認します。

ファブリック	スイッチ	スイッチドメイン
1.	A_1	5.
B_1.	7.	2.
A_2	6.	B_2

4. ポート速度を変更します。

「portcfgspeed」

```

FC_switch_A_1:admin> portcfgspeed port number port speed

```

デフォルトでは、すべてのポートが 16Gbps で動作するように設定されています。ポート速度は次のような理由で変更される可能性があります。

- 8 Gbps の FC-VI アダプタを使用し、スイッチポート速度を 8Gbps に設定している場合、インターコネクストスイッチポート速度を変更する必要があります。
- ISL が 16Gbps で実行されない場合は、ISL ポートの速度を変更する必要があります。

5. ISL の距離を計算します。

FC-VI の動作により、この距離を 10 (LE) 以上の実際の距離の 1.5 倍に設定する必要があります。ISL の距離は次のように計算され、km 単位に切り上げられます。  $1.5 \times \text{実際の距離} = \text{距離}$  です。

距離が 3km の場合は、 $1.5 \times 3 \text{ km} = 4.5$  となります。これは 10 より小さいため、ISL は LE の距離レベルに設定する必要があります。

この距離は 20km の場合は、 $20\text{km} \times 1.5 = 30$  となり、ISL は LS 距離レベルに設定する必要があります。

6. ISL ポートごとに距離を設定します。

```

longdistance_port level vc_link_init__ distance_ddistance value

```

vc\_link\_init の値が 1 の場合は、デフォルトで fillword 「ARB」が使用されます。0 の値は、fillword "idle" を使用します。必要な値は、使用するリンクによって異なる場合があります。この例では、デフォルトが

設定され、距離は 20 km と想定されていますしたがって、設定は「30」で、VC\_link\_init の値は「1」、ISL ポートは「21」です。

例：ls

```
FC_switch_A_1:admin> portcfglongdistance 21 LS 1 -distance 30
```

例：LE

```
FC_switch_A_1:admin> portcfglongdistance 21 LE 1
```

7. スイッチを永続的に有効にします。

switchcfgpersistentenable

次の例は、FC switch\_A\_1 を永続的に有効にします。

```
FC_switch_A_1:admin> switchcfgpersistentenable
```

8. IP アドレスが正しく設定されていることを確認します。

ipaddrshow

```
FC_switch_A_1:admin> ipAddrshow
```

必要に応じて、IP アドレスを設定できます。

ipAddrSet

9. スイッチのプロンプトでタイムゾーンを設定します。

tstimezone — 対話型

プロンプトに対してと入力します。

```
FC_switch_A_1:admin> tstimezone --interactive
```

10. スイッチをリブートします。

「再起動」

次の例は、FC switch\_A\_1 をリブートします。

```
FC_switch_A_1:admin> reboot
```

11. 距離設定を確認します。

```
portbuffershow
```

LE の距離設定は 10 km と表示されます

```
FC_Switch_A_1:admin> portbuffershow
User Port Lx   Max/Resv Buffer Needed  Link      Remaining
Port Type Mode Buffers  Usage  Buffers Distance Buffers
-----
...
21   E   -    8      67     67     30 km
22   E   -    8      67     67     30 km
...
23   -   8    0      -      -      466
```

12. ISL ケーブルを、取り外したスイッチのポートに再接続します。

工場出荷時の設定にリセットすると、ISL ケーブルは切断されています。

["Brocade FC スイッチを工場出荷時のデフォルトにリセット"](#)

13. 構成を検証

- a. スイッチが 1 つのファブリックを形成することを確認します。

```
'witchshow'
```

次の例は、ポート 20 とポート 21 上の ISL を使用する構成の出力です。

```

FC_switch_A_1:admin> switchshow
switchName: FC_switch_A_1
switchType: 109.1
switchState:Online
switchMode: Native
switchRole: Subordinate
switchDomain:      5
switchId:   fffc01
switchWwn:  10:00:00:05:33:86:89:cb
zoning:     OFF
switchBeacon: OFF

Index Port Address Media Speed State Proto
=====
...
20  20  010C00  id    16G  Online FC  LE E-Port
10:00:00:05:33:8c:2e:9a "FC_switch_B_1" (downstream)(trunk master)
21  21  010D00  id    16G  Online FC  LE E-Port (Trunk port,
master is Port 20)
...

```

- b. ファブリックの設定を確認します。

「fabricshow」

```

FC_switch_A_1:admin> fabricshow
Switch ID      Worldwide Name      Enet IP Addr FC IP Addr Name
-----
1: fffc01 10:00:00:05:33:86:89:cb 10.10.10.55  0.0.0.0
"FC_switch_A_1"
3: fffc03 10:00:00:05:33:8c:2e:9a 10.10.10.65  0.0.0.0
>"FC_switch_B_1"

```

- c. ISL が機能していることを確認します。

「islshow」

```

FC_switch_A_1:admin> islshow

```

- d. ゾーニングが正しくレプリケートされたことを確認します。

「cfgshow」 + 「zonestow」と入力します

両方の出力に、両方のスイッチの同じ設定情報とゾーニング情報が表示されます。

e. トランキングを使用する場合は、トランキングを確認します。

「トラクショー」

```
FC_switch_A_1:admin> trunkshow
```

## 著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。